

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ユビキタス
 コード番号 3858 URL <http://www.ubiquitous.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三原 寛司

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 榎木 玲子

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

TEL 03-5908-3451

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	394	△3.4	△57	—	△49	—	△99	—
24年3月期第2四半期	408	△32.9	48	△81.7	50	△81.0	27	△82.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△1,162.50	—
24年3月期第2四半期	321.43	311.73

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,174	2,048	93.4
24年3月期	2,319	2,142	91.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,030百万円 24年3月期 2,129百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	900	△1.7	△55	—	△46	—	△97	—	△1,138.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	87,239 株	24年3月期	87,239 株
25年3月期2Q	2,020 株	24年3月期	2,020 株
25年3月期2Q	85,219 株	24年3月期2Q	85,834 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P.3「1. (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における売上高合計は394,862千円となり、第1四半期累計期間より回復傾向にあるものの、当初の見込みよりは低調に推移しました。なお、事業進捗や市場状況を慎重に検討した結果、11月9日に「繰延税金資産の取崩し及び業績予想の修正ならびに役員報酬の減額に関するお知らせ」において、当第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正を発表しました。

形態別の内訳では、ソフトウェア使用許諾売上高287,800千円、サポート売上高27,961千円、受託開発売上高68,210千円、及びその他の売上高10,890千円となりました。ネットワーク関連のうちゲーム分野における売上高は147,566千円（前年同四半期累計期間 134,750千円 9.5%増）、その他の分野における売上高は149,949千円（同164,420千円 8.8%減）となりました。

分野別の業績については以下のとおりです。

ネットワーク関連のうちゲーム分野は、当第2四半期累計期間中に携帯型ゲーム機向けの大型タイトルの販売があり、予想よりも好調に推移しました。

ゲーム以外のネットワーク分野は、国内エレクトロニクス業界の不振の影響を受け、デジタル家電のうちデジタルテレビに関するロイヤルティや、予定していた新規受託開発案件の不調などにより、低調に推移しました。

継続して採用をいただいているデジタル家電関係では、引き続き受託開発案件やロイヤルティを獲得し売上を計上しており、デジタルカメラの無線対応などで新規案件の引き合いも多数いただいております。また、無線やホームネットワーク分野の商談も引き続き活発化の傾向にあり、複数の新規案件も獲得しています。今後も継続して新規案件の獲得を積極的に行ってまいります。

データベース関連では、引き続きデジタルカメラやモバイル機器からのロイヤルティ収益は堅調で、新たにプロシューマ音楽機器分野での搭載製品の出荷が開始されました。一方、新規案件の獲得は低調に推移しました。引き続き産業機器などでの分野での新規採用を目指し、積極的な営業活動を行ってまいります。

デバイス高速起動関連では、小規模ながら新たに数種の搭載製品の出荷が開始されました。カーナビゲーションシステムなど車載向けの端末において、複数社との間で大・中規模案件の研究開発・商品化に向けた実装が継続して進んでおり、新規案件の商談も活発です。一般的に車載関連の製品は、他の製品群と比べても、市場投入まで相当程度の時間を要しますが、当第2四半期累計期間中に大規模案件での量産製品への搭載の目処が立ち、当事業年度下半期からのロイヤルティ収益の獲得を予定しています。

サービスプラットフォーム関連では、「電力見える化ソリューション」の一環として開発を進めていた、無線LAN内蔵電源タップ「Navi-Ene Tap」の出荷を9月より開始し、販売パートナーであるサンワサプライ株式会社より販売が開始されました。またクラウドサービス「Navi-Ene」も9月27日よりサービスを開始しました。今後はBtoBビジネスへの展開も含めて関連事業を本格化してまいります。

営業費用面では、役員及び従業員等の人件費として277,400千円（前年同四半期比6.9%増）及び、経費として317,207千円（同32.5%増）を計上しました。なお、これらの人件費・経費のうち研究開発費は56,375千円（同11.0%増）です。また、平成25年3月期第2四半期累計期間の業績推移及び今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産40,685千円を取崩し、法人税等調整額に計上しました。

以上の結果、営業損失57,358千円（前年同四半期営業利益48,444千円）、経常損失49,806千円（同 経常利益50,529千円）、四半期純損失99,067千円（同 四半期純利益27,590千円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より144,928千円減少して2,174,661千円となりました。流動資産は、現金及び預金や繰延税金資産の減少等により前事業年度末より153,966千円減少して1,446,956千円となりました。固定資産は、差入保証金の返戻による減少があったものの、販売用ソフトウェアの増加、及び8月には当社サービスプラットフォーム上における幅広い業務提携を目指して株式会社Miewの第三者割当増資を引き受け、投資有価証券20,000千円の増加があり、9,037千円増加して727,704千円となりました。

一方、負債は、前事業年度末より50,561千円減少して126,417千円となりました。流動負債は、未払金の減少等により前事業年度末より58,958千円減少して93,405千円となり、固定負債は33,011千円となりました。

純資産は、資本金及び資本準備金は前事業年度末から変化はなく、利益剰余金は、四半期純損失99,067千円の計上により前事業年度末より99,067千円減少して1,065,290千円となりました。以上により、純資産は前事業年度末より94,366千円減少して2,048,244千円となり、自己資本比率は、前事業年度末の91.8%から93.4%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

現時点において平成24年11月9日発表の通期業績予想を見直すべき重要な要素はなく、同予想を据え置くこととします。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	972,056	759,618
売掛金	198,102	251,344
有価証券	200,000	400,000
商品及び製品	—	5,895
仕掛品	2,530	2,795
前払費用	11,523	15,295
繰延税金資産	40,305	—
未収還付法人税等	144,213	166
その他	32,192	11,840
流動資産合計	1,600,923	1,446,956
固定資産		
有形固定資産		
建物	72,357	72,357
減価償却累計額	△753	△5,276
建物（純額）	71,603	67,081
工具、器具及び備品	31,862	32,752
減価償却累計額	△21,039	△23,371
工具、器具及び備品（純額）	10,822	9,381
有形固定資産合計	82,426	76,462
無形固定資産		
ソフトウェア	220,665	239,964
ソフトウェア仮勘定	24,821	36,686
商標権	2,038	1,859
無形固定資産合計	247,525	278,510
投資その他の資産		
投資有価証券	5,700	25,700
長期預金	300,000	300,000
差入保証金	82,634	47,031
繰延税金資産	380	—
投資その他の資産合計	388,714	372,731
固定資産合計	718,666	727,704
資産合計	2,319,589	2,174,661

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,282	18,690
未払金	112,792	25,237
未払費用	9,171	21,820
未払法人税等	2,081	2,176
未払消費税等	—	3,326
前受金	10,065	16,741
未払配当金	686	—
預り金	4,283	5,412
流動負債合計	152,363	93,405
固定負債		
資産除去債務	24,615	24,700
その他	—	8,310
固定負債合計	24,615	33,011
負債合計	176,979	126,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	566,939	566,939
資本剰余金	536,939	536,939
利益剰余金	1,164,358	1,065,290
自己株式	△138,469	△138,469
株主資本合計	2,129,767	2,030,699
新株予約権	12,843	17,544
純資産合計	2,142,610	2,048,244
負債純資産合計	2,319,589	2,174,661

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高		
ソフトウェア使用許諾売上高	280,214	287,800
サポート売上高	25,943	27,961
ソフトウェア受託開発売上高	102,749	68,210
その他の売上高	—	10,890
売上高合計	408,908	394,862
売上原価	90,849	138,347
売上総利益	318,059	256,515
販売費及び一般管理費		
役員報酬	32,250	36,862
給料及び手当	97,231	98,761
法定福利費	8,625	11,467
広告宣伝費	14,543	12,017
減価償却費	2,520	3,932
不動産賃借料	9,065	14,509
支払手数料	31,981	49,730
消耗品費	2,135	1,689
研究開発費	50,778	56,375
その他	20,483	28,527
販売費及び一般管理費合計	269,614	313,873
営業利益又は営業損失(△)	48,444	△57,358
営業外収益		
受取利息	376	294
有価証券利息	1	592
法人税等還付加算金	—	4,297
雑収入	1,786	2,438
営業外収益合計	2,164	7,622
営業外費用		
為替差損	79	70
営業外費用合計	79	70
経常利益又は経常損失(△)	50,529	△49,806
特別利益		
投資有価証券売却益	5,520	—
特別利益合計	5,520	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	56,049	△49,806
法人税、住民税及び事業税	1,353	265
法人税等調整額	27,105	48,995
法人税等合計	28,459	49,260
四半期純利益又は四半期純損失(△)	27,590	△99,067

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	56,049	△49,806
減価償却費	33,649	47,933
株式報酬費用	9,117	4,700
受取利息及び受取配当金	△376	△294
有価証券利息	△1	△592
売上債権の増減額 (△は増加)	172,609	△53,242
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,211	△6,161
営業債務の増減額 (△は減少)	△8,488	5,407
未払金の増減額 (△は減少)	△49,580	△25,843
未払費用の増減額 (△は減少)	△7,773	12,649
資産除去債務の増減額 (△は減少)	—	△11,900
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,450	3,326
前受金の増減額 (△は減少)	10,161	6,676
預り金の増減額 (△は減少)	△29	1,128
その他	79	17,011
小計	181,753	△49,006
利息及び配当金の受取額	1,042	830
法人税等の支払額	△185,690	△1,311
法人税等の還付額	—	144,213
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,893	94,725
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△1,030	△50,701
無形固定資産の取得による支出	△73,808	△72,064
長期預金の預入れによる支出	△300,000	△300,000
定期預金の払戻による収入	300,000	—
投資有価証券の取得による支出	△305,625	△20,000
差入保証金の回収による収入	—	35,602
投資活動によるキャッシュ・フロー	△380,463	△607,163
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	11,971	—
配当金の支払額	△1,470	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,501	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△372,855	△512,437
現金及び現金同等物の期首残高	1,492,023	972,056
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,119,168	459,618

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。